

統合校における制服・運動着・通学カバンの協議状況について(お知らせ)

古川西部地区総務部会

現在、統合に向けた準備の一環として、統合校における制服・運動着・通学カバンの取扱いについて協議を進めており、皆様のお考えを踏まえた話し合いにしたいという考えから、各校のご協力のもと『制服等の学用品に関するアンケート』を実施させていただきました。

アンケートの対象者は古川西部地区の保護者、教職員、児童生徒を合わせ、535名となり、うち484名からご回答をいただきました。

このアンケート結果(裏面に抜粋を掲載)を参考として、令和3年8月6日(金)に開催した第5回総務部会において、以下の方針とするところまで協議が進んでいます。

制服・指定運動着・指定通学カバンを採用する

制服・指定運動着・指定通学カバンは新しいデザインを選定する

※制服についてはジェンダーレスに対応したデザインとする

現行の制服・運動着・通学カバンは統合校においても継続利用できるようにする

制服のデザインについては、アンケートにおいて『現行のデザイン』を支持する方と『新しいデザイン』を支持する方が拮抗する結果となり、その他意見においても『市内でセーラー服は西中しかないので残してほしい』などセーラー服を残したいという意見と『ジェンダーレス等着用する生徒のことを第一に考えてほしい』などジェンダーレスへの対応を望む意見がありました。

部会ではこれらの結果を踏まえ、新しい学校の制服のデザインをどうするか議論しました。議論の中においても、『現行のデザイン』とジェンダーレスに対応する『新しいデザイン』の両方の意見があり、ジェンダーレス対応は必要としつつ、西中のセーラー服は残したいという意見も出ました。

セーラー服でジェンダーレスに対応ができないかという点についても検討しましたが、学生服・セーラー服は性差があるデザインであり、ジェンダーレス対応は困難という現状から、現行の『学生服・セーラー服を残す』か『ジェンダーレス対応した新たなデザインにする』かについて、出席した全部会員が意見を述べました。その中でも、『伝統ある西中のセーラー服を残したい。』が『ジェンダーレス対応は必要』という苦渋の決断であることを述べる部会員もいました。

最終的に、皆が精神的負担を感じずに満足して着用できる制服にするため、『ジェンダーレスに対応した新たなデザインにする』という結論に全会一致でまとまりました。

今後、新しい制服や着用義務など協議を進めていきますので、保護者皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

アンケート結果や協議の詳細(第5回報告書)については、市のウェブサイトに掲載しております。右のQRコードからアクセスできますのでご覧ください。

